



煤ヶ谷駐在所だより

令和7年10月
厚木警察署
煤ヶ谷駐在所
平山
046-223-0110

不審者を見たら通報をお願いします

8月29日に新屋敷において、車2台のガラスが割られたという、器物損壊容疑事案がありました。

また、その付近では、田んぼを囲うネットがハサミ様の物で切られていたり、工具が盗まれていたという話もありました。

昼夜を問わず、見たことのない人が徘徊していたり、家を物色しながら歩いているような素振りをしている者を発見したときはすぐに通報をお願いします。



同じく8月29日に下舟沢において、屋根のリフォーム業者が来たと言う通報もありました。リフォーム業者にあつては、早く通報をしていただいたため、すぐに業者を発見できることができ、「清川村の人は、屋根が壊れていると訪問して来る業者がいることを知っていて、みんな警戒しているので回っても無駄です。」と言って立ち去らせました。

通報が早ければ早いほど、発見できる確率が上がりますので、屋根が壊れていると言ってくるような悪質な訪問業者が訪問してきた際は、すぐに通報をお願いします。

あおり運転にならないように



村内の道路は、基本制限速度が時速30キロか40キロです。

ちゃんと制限速度を守った運転している車が遅く感じるかもしれませんが、遅いからと言って車間距離を詰めたり、パッシングやクラクションを鳴らさないようにしてください。

あおっているつもりがなくても、相手があおられていると感じるような場合、通報され検証した後、あおり運転として呼び出される可能性があります。

○ 車間距離にあつては、前の車が急停止した場合に追突せずに安全に停止できる程度に車間距離を維持してください。

村内では、特に夜間に鹿などの動物が道路にいる可能性があり、前の車が急ブレーキを踏むことがありますので、十分に車間距離を開けるようにお願いします。

○ 急ブレーキをかけて停止しようとしても、時速30キロでは11.1メートル、時速40キロでは16.8メートルかかり、速度が早ければ早いほど停止するまでの距離はかかります。

○ クラクションにあつては、見通しのきかない道路等で、危険を回避するために自身の存在を知ってもらうためであったり、「警音器鳴らせ」と言う標識がある場所以外で鳴らすことは違反になります。

あおり運転にならないように、追突事故を防ぐためにも安全運転を心掛けるようお願いします。

清川村の事件・事故

(8/21～9/20)

- 物件事故 8件
土山峠3件、唐沢キャンプ場付近2件、宮ヶ瀬湖P2件、大野1件
- 人身事故 3件
土山峠、金翅前、やまびこ大橋
- 器物損壊容疑 2件
新屋敷2件
- 山岳遭難 2件



山岳遭難事故を防ぐために

9月18日と9月22日に辺室山付近の上級者ルートと丹沢山から高畑山への登山道において山岳遭難事故が発生しました。

18日の山岳遭難事故については登山歴は5年ほどの高齢男性で、足がけいれんしてしまい動けなくなったと言う内容で、水分、塩分等を摂らせたところ回復し、無事に救助することができました。

22日の山岳遭難事故については登山歴1年目の20代の男性で、水と食料がなくなりエネルギー不足で動けなくなったと言う内容で、同じく水分と食料を取らせたところ動けるようになり、無事に救助することができました。



登山歴が長い短い、高齢、若者であっても関係なくどんな方でも準備が不足していたら遭難事故に遭う可能性がありますので、以下の点に注意してください。

○ 体力に見合った登山計画を立て、登山計画を提出しましょう。

- ・ 県内の遭難事故の多くは疲労が原因ですので、体力に見合った計画を立てましょう。また、知らない山を登るのは危険なので、事前にインターネットやヤマレコ、ヤママップ等の山アプリで経路やコースタイムを確認しましょう。
- ・ 登山口に設置されている登山ポストにある登山届やインターネットからダウンロードした登山計画書を確実に提出しましょう。

○ 必要な装備品を携行しましょう。

道に迷わないよう地図やコンパスを使用しましょう。私は山アプリの地図を利用しており、迷いそうな道では、その都度確認するようにしています。

雨具は天気が悪くても携行しましょう。山の天気は変わりやすいですし、遭難時に暖をとることができるので、晴れていても雨具は持っていくようにしてください。

○ 食料、水分を多めに持っていきましょう。

今回救助した遭難事故はどちらも食料や水分の不足が原因です。

私も登山中に何回も足がけいれんしたりつったりしたことがあります。これぐらいあれば足りるだろうと思う量を持って行っても、季節や天候、登山ルートによって摂取量は変わります。水分、塩分、エネルギーとなる食料は不可欠なので、水や食料は遭難時のことも考え多めに用意し、塩タブレット等の塩分を摂れる物を持っていきましょう。

○ 早めの出発、早めの下山を心掛けましょう。

山の日暮れは早く、暗くなった状態での登山は大変危険で、暗くなって動けなくなったと言う遭難事故も多く発生しています。日暮れ前に下山できるように時間に余裕を持って早めの出発、日暮れ前に下山できるようにしましょう。

また、万が一日が暮れてしまった場合に備えて、ライトを必ず持っていくようにしましょう。

県警では、ホームページやX(エックス)で安全登山に関する情報を発信していますので是非活用してください。

これから行楽シーズンが始まります。

水や食料、雨具やライト等の装備品の携行、体力に見合った登山計画、日暮れ前に下山できるコース設定を立てるなど、事前準備を万端にし、安全な登山で楽しみましょう。

